モエレ沼公園ができるまで 市議会の奮闘物語

モエレ沼公園
世界的に有名な彫刻家、故イサム・ノグチ氏の「公園をひとつの彫刻」と考えるダイナミックな構想によってつくられた、札幌市民の公園。

1 モエレ沼公園は、もともとごみ処理場として使用されていた土地でした。

2 議員 市長、モエレ沼の計画についてお話しください。

3 市長 ごみの埋め立てが済んだら、ごみ処理場だったとは思えないような美しい公園にしたいと思っています。

4 市民 家族で思いきり遊べるような公園ができるとイイね。

5 市が計画を立てるとき、議会は市長や職員から説明を聞き、質問を行います。もちろん市民の皆さんからの声も市に伝えます。

6 こうして1979年からごみの埋め立てが始まり、1982年にいよいよ公園の造成がスタート!

7 市長 札幌市民が世界に自慢できるような公園にしたいですね。思い切って、世界的な彫刻家イサム・ノグチ氏に設計をお願いしてみましょう。

8 1988年イサム・ノグチ氏はモエレ沼公園の設計を快くOKしてくれました。

9 市民 駐車場はあったほうがイイなー

10 市が財産を取得あるいは処分するときは、議会の賛成が必要です。

11 公園のシンボルとなるガラスのピラミッドをつくるために、札幌の会社と契約したいと思います。

12 市が高額な契約をするときには、議会で議決されなければいけません。

13 議員 ガラスのピラミッドの愛称を広く募集してみてはどうでしょう。

議会からも市にいろいろな提案をします。

14 愛称を募集した結果、「HIDAMARI」に決定しました。

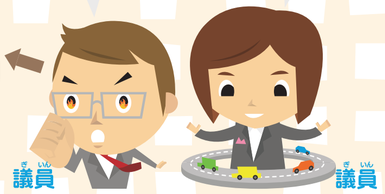
15 市民 モエレ沼公園でコンサートができたらいいナ♪

16 議決 『札幌市都市公園条例』を改正して、モエレ沼公園の利用料を決定しました。

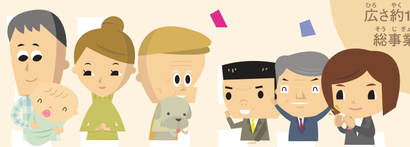
17 2004年モエレ山完成

18 渋滞解消や安全のために公園周辺の道路整備もしなくては!

19 もっと素晴らしい公園にするために、どんどん提案していこう。完成はもうすぐだ!



20 2005年7月 モエレ沼公園グランドオープン!! 広さ約189ヘクタール、総事業費250億円。



21 モエレ沼公園の構想から完成まで、議会はさまざまな場面で関わり、市民の皆さんの意見を聴きながら、素晴らしい公園になるよう頑張りました。